

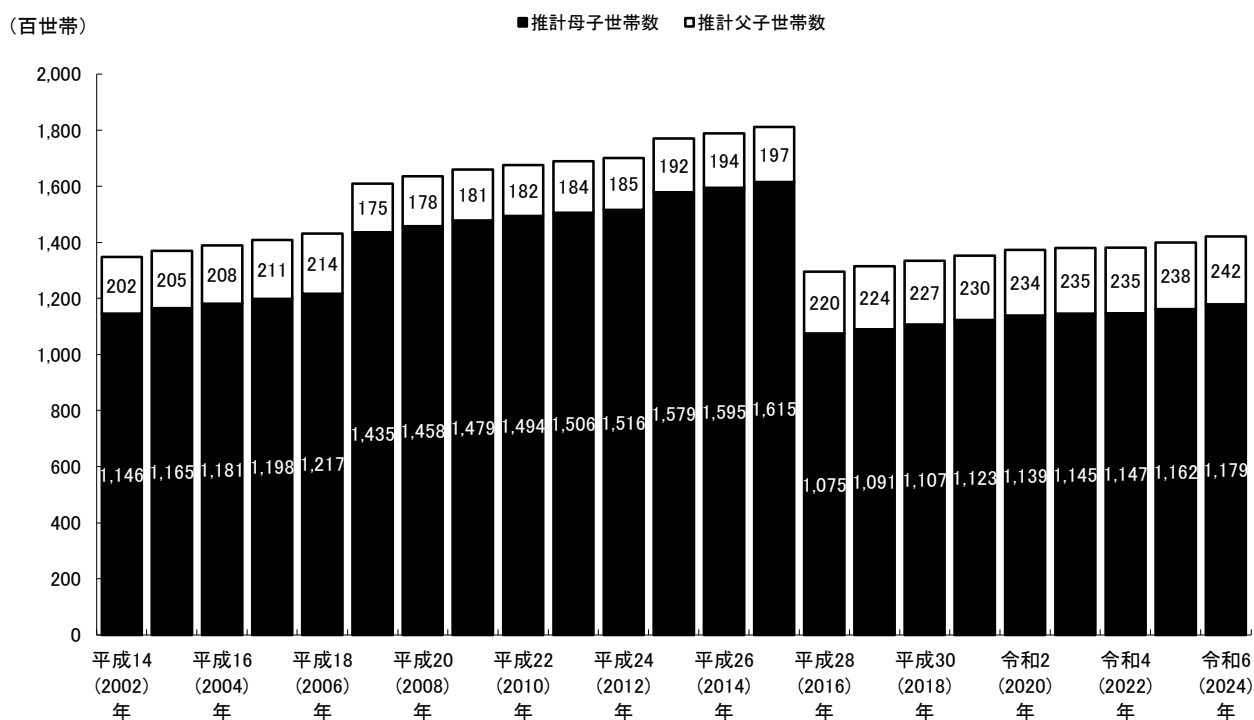
第3章 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援

3-1 ひとり親家庭への支援

1. ひとり親家庭の世帯数

都のひとり親家庭の世帯数は、令和6（2023）年1月1日現在で母子世帯が117,900世帯、父子世帯が24,200世帯と推計されている。

図表 3-1-1 母子世帯・父子世帯の推計値（都）



注：東京都福祉保健基礎調査（平成17年度以前は東京都社会福祉基礎調査）による、三世帯同居世帯を含む母子家庭・父子家庭の出現率に、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」における各年1月1日人口を乗じたもの

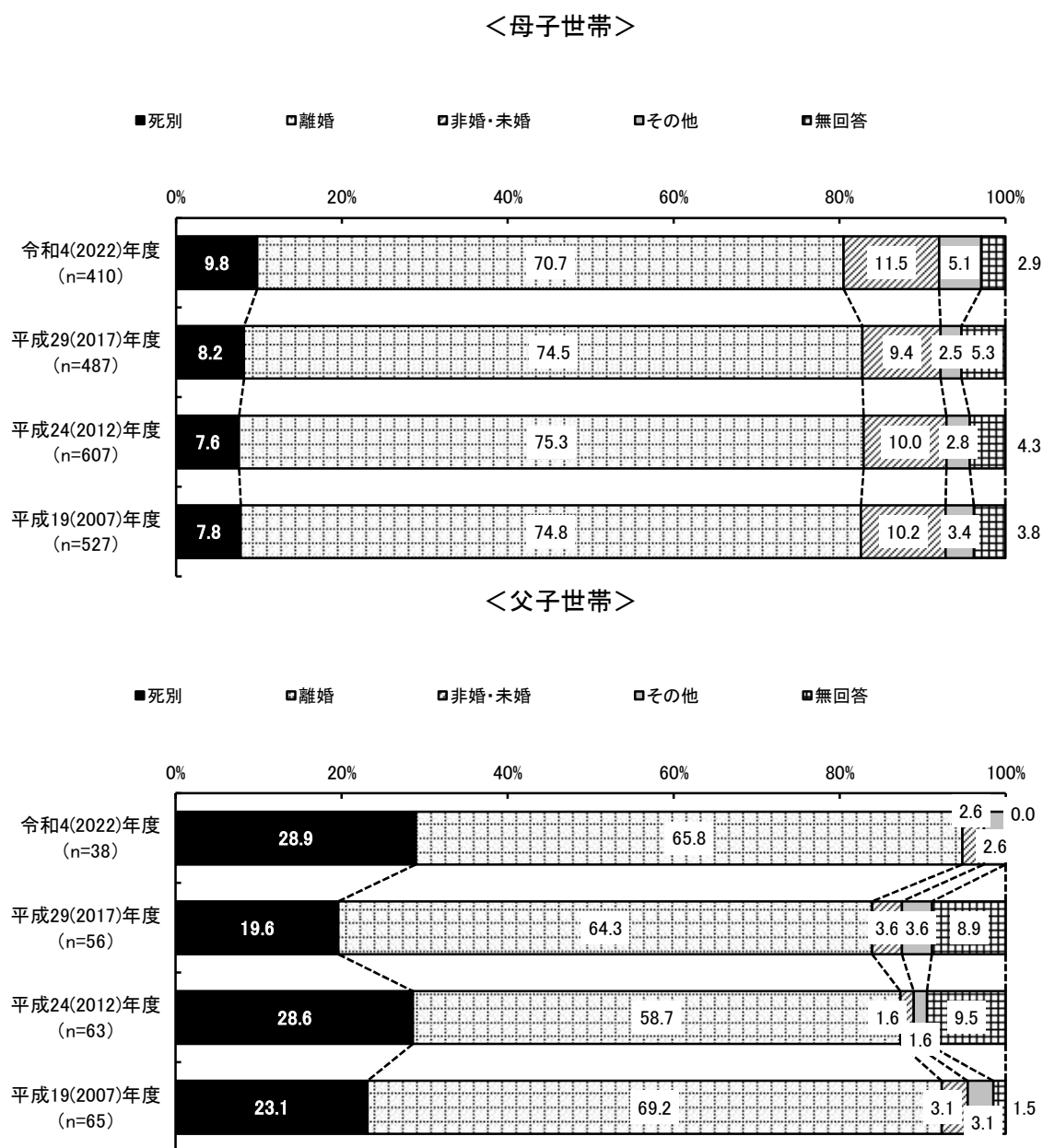
資料：東京都福祉保健基礎調査「都民の生活実態と意識」
東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」

2. ひとり親家庭になった理由別の世帯構成割合

令和4（2022）年度の都の調査では、ひとり親世帯になった理由は母子世帯においては離婚が70.7%を占めており、父子世帯においては離婚が65.8%、次いで死別が28.9%となっている。

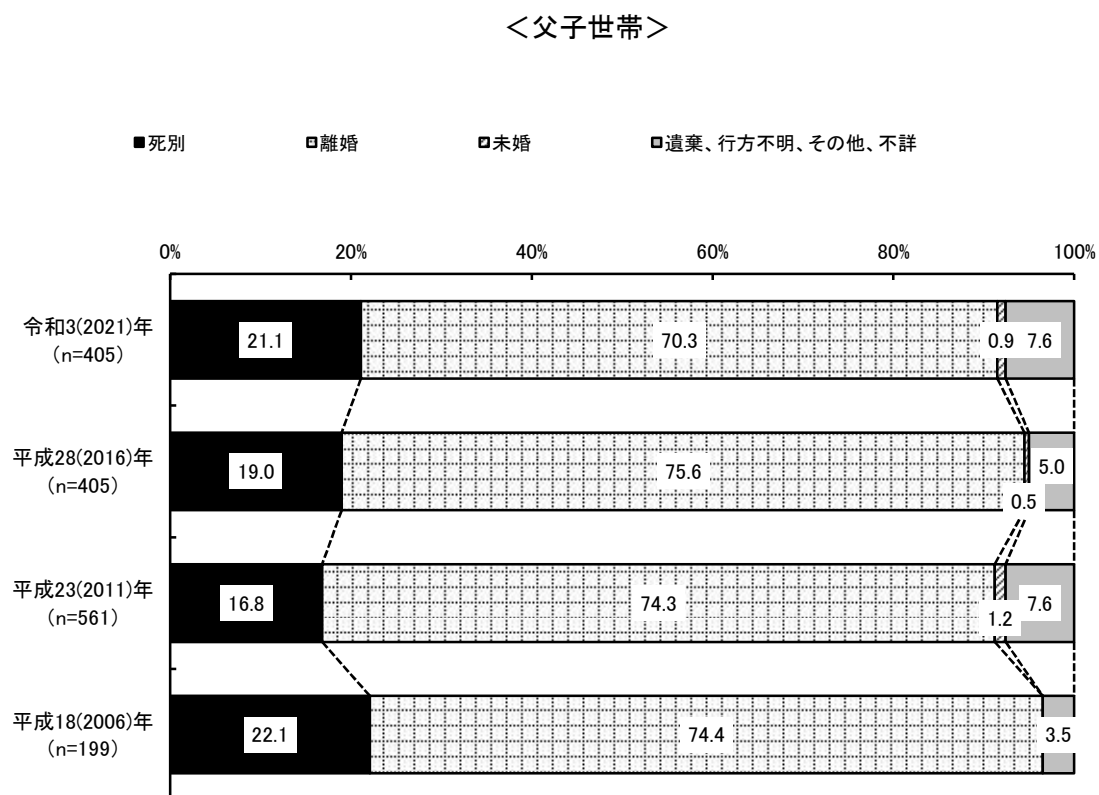
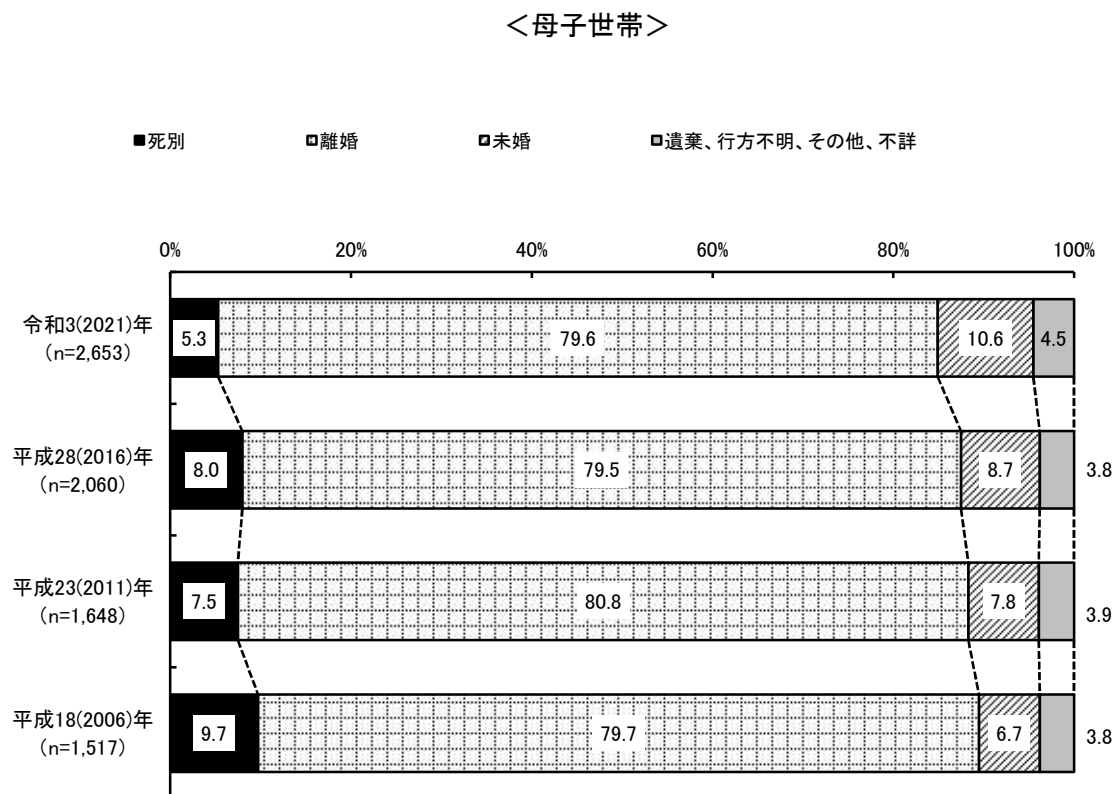
令和3（2021）年度の全国調査では、母子家庭においては離婚が79.6%であり、父子家庭においては離婚が70.3%、死別が21.1%であった。

図表 3-1-2-1 ひとり親家庭になった理由別の世帯構成割合（都）



資料：東京都福祉保健基礎調査「東京の子供と家庭」（令和4年度）

図表 3-1-2-2 ひとり親家庭になった理由別の世帯構成割合（全国）

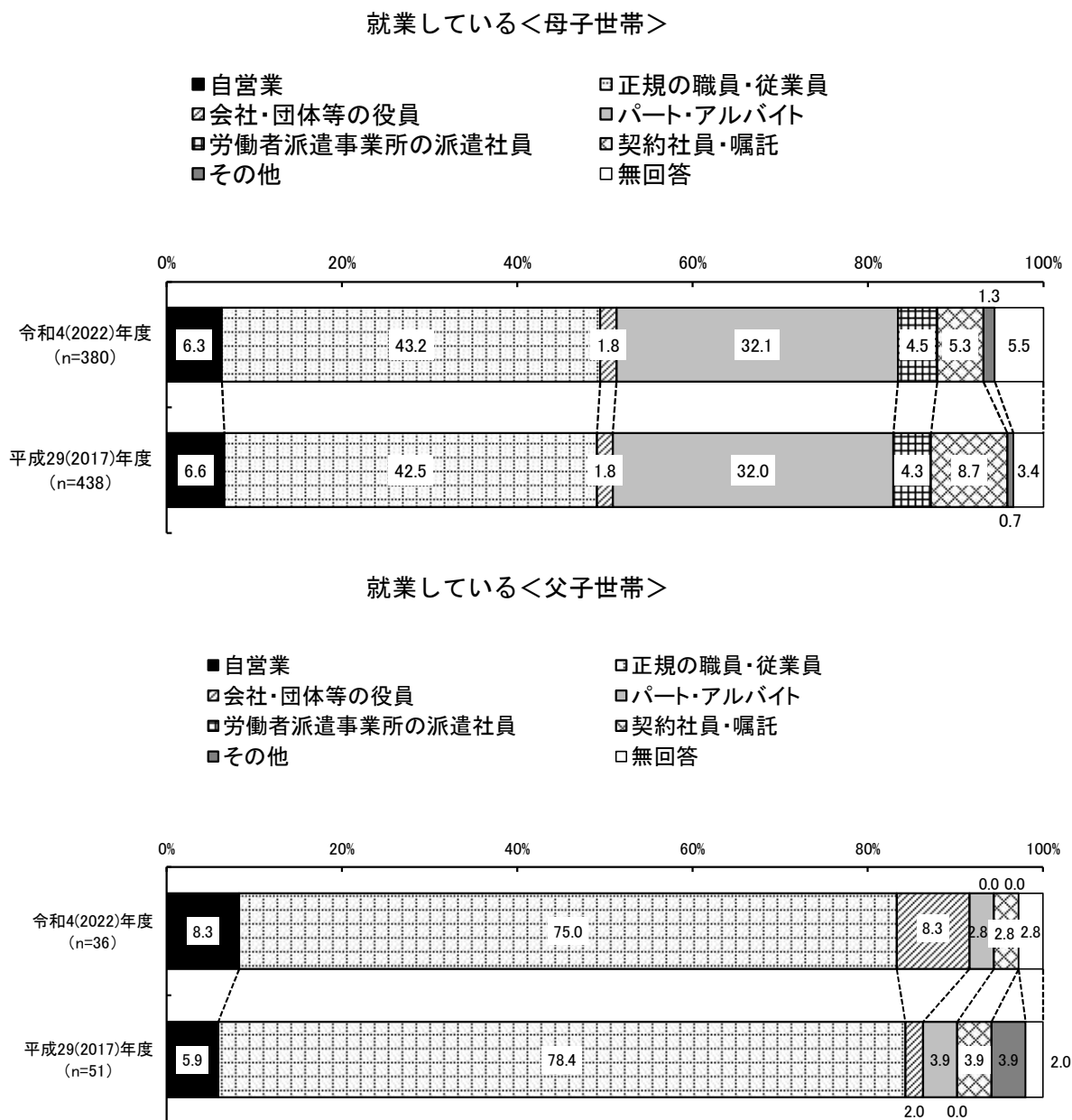


資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（令和3年度）

3. ひとり親家庭の雇用形態

ひとり親家庭の雇用形態は、母子世帯では、「正規の職員・従業員」が43.2%であり、「パート・アルバイト」が32.1%となっている。父子世帯は、「正規の職員・従業員」が75.0%となっており、母子世帯に比べて高くなっている。

図表 3-1-3 ひとり親家庭の雇用形態（都）

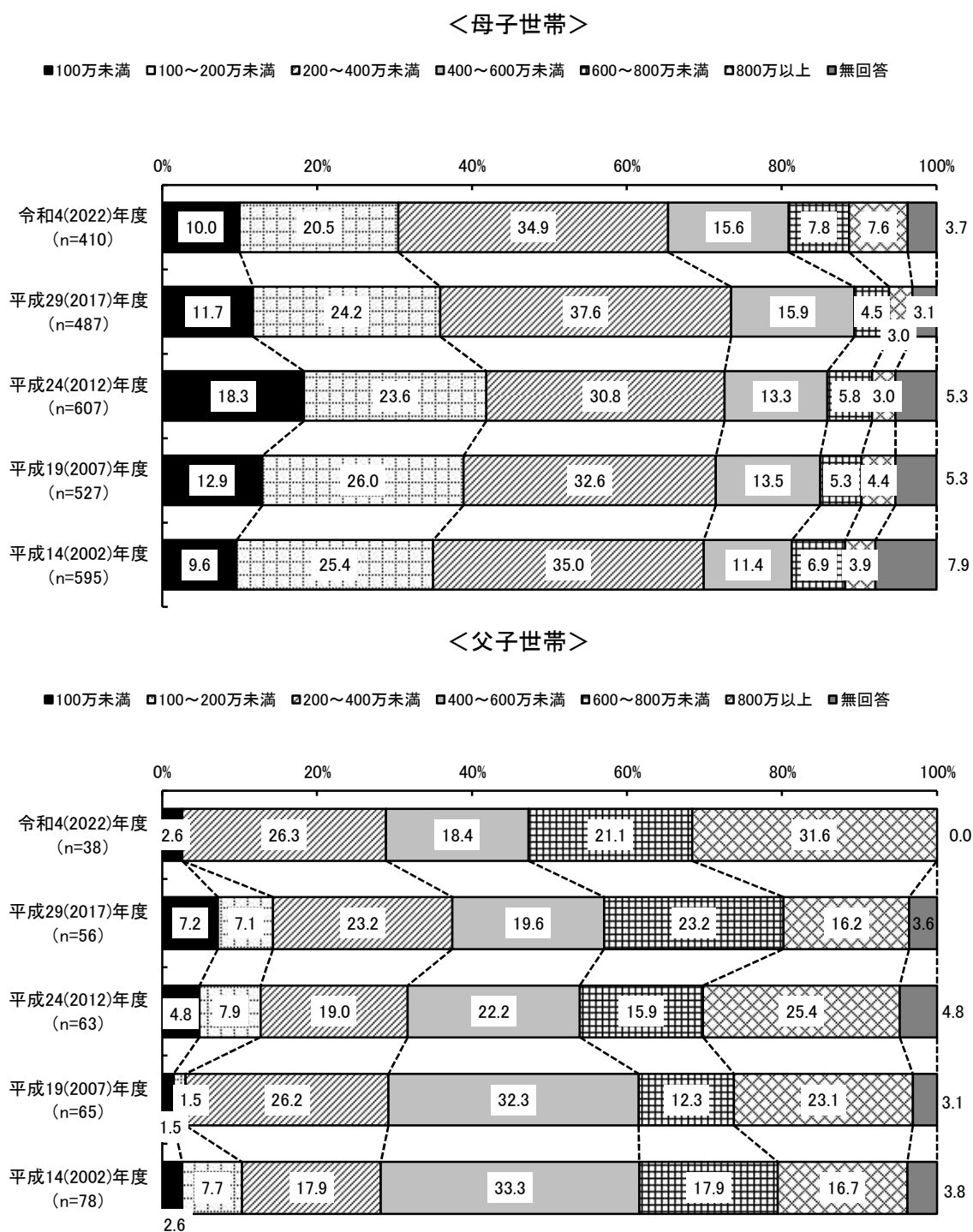


資料：東京都福祉保健基礎調査「東京の子供と家庭」（令和4年度）

4. ひとり親世帯の収入

令和4（2022）年度の都の調査では、母子世帯は平均収入400万円未満が65.4%となっている。一方、父子世帯では400万円未満は28.9%となり、400万円以上の割合の方が高い。

図表 3-1-4-1 ひとり親世帯の年間平均収入（都）

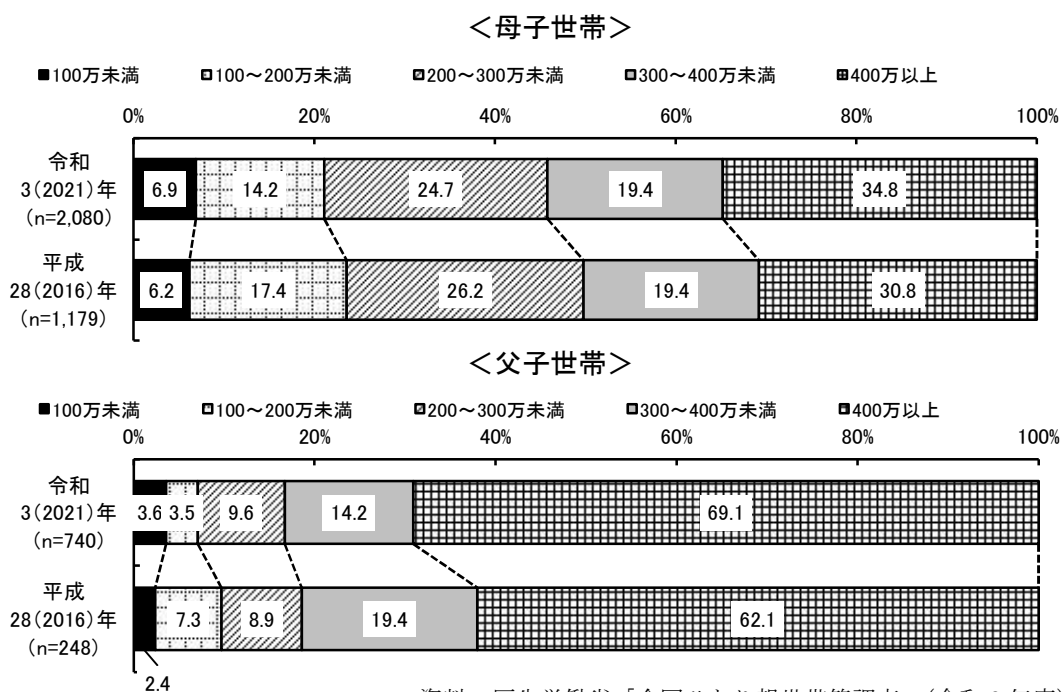


資料：東京都福祉保健基礎調査「東京の子供と家庭」（令和4年度）

令和3（2021）年度の全国調査では、母子世帯の平均収入は400万未満が65.2%、200万円未満は21.1%である。一方、父子世帯では400万円以上が69.1%、200万円未満は7.1%となっている。

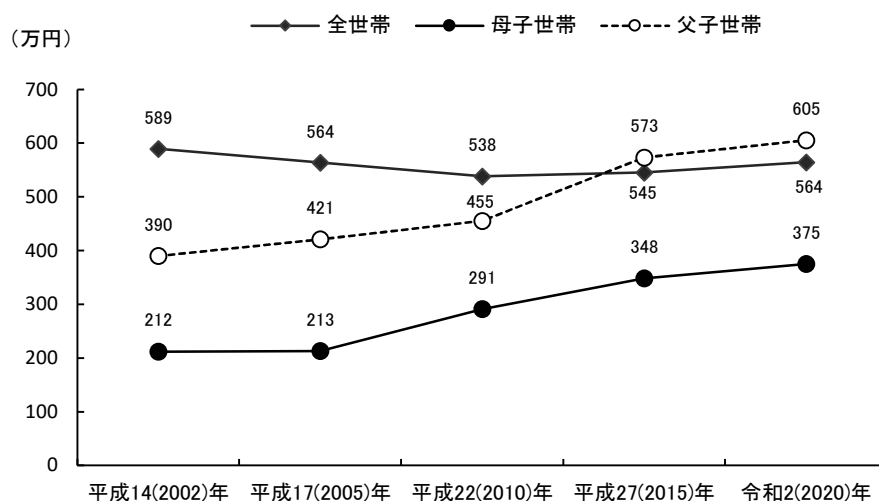
全世帯の収入との比較では、令和2（2020）年度で全世帯平均が564万円であるのに対し、母子世帯が375万円、父子世帯が605万円となっている。

図表 3-1-4-2 ひとり親世帯の年間平均収入（全国）



資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（令和3年度）

図表 3-1-4-3 ひとり親世帯の年間平均収入と全世帯の年間平均収入の比較（全国）



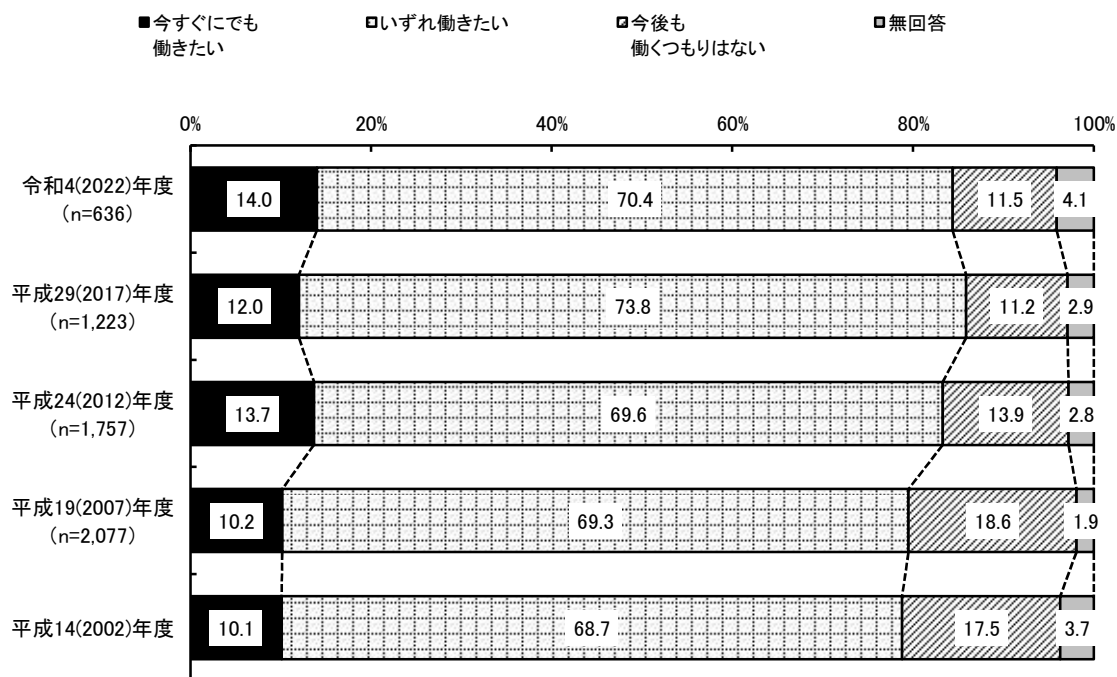
注：全世帯については国民生活基礎調査の平均所得の数値

資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（令和3年度）

5. 母子世帯の母で就業していないものの就業希望等

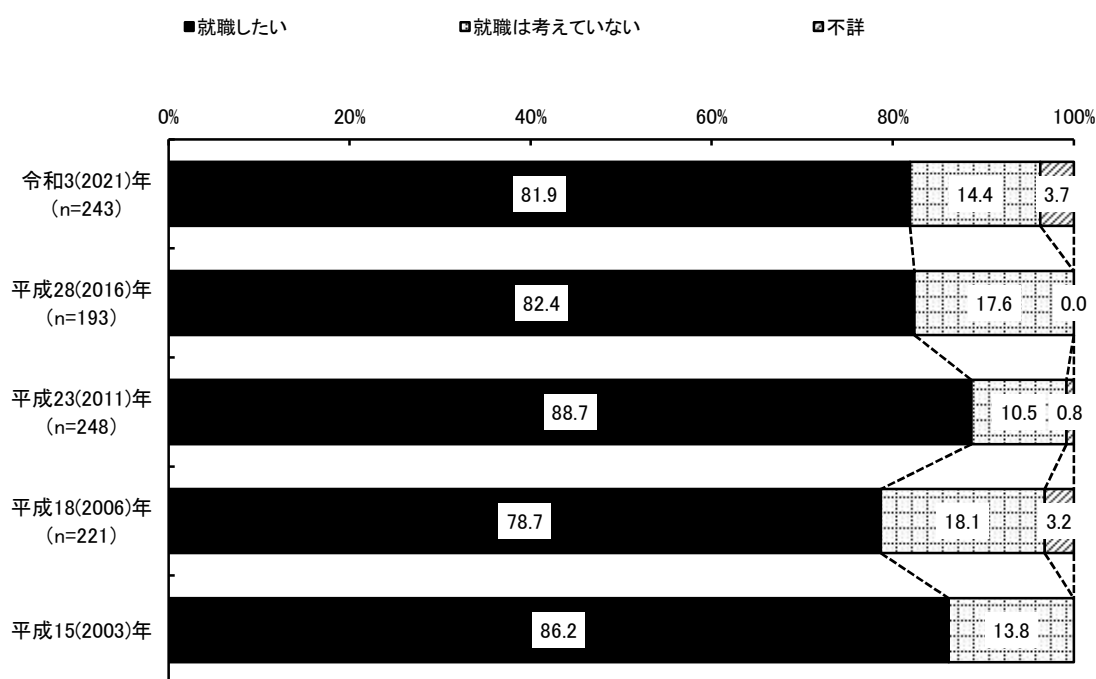
令和4（2022）年度の都の調査では、母子世帯の母で就業していないものの就業希望は、84.4%が働きたいと希望している。令和3（2021）年度の全国調査においても81.9%が就職を希望している。

図表 3-1-5-1 母子世帯の母で就業していないものの就業希望等（都）



資料：東京都福祉保健基礎調査「東京の子供と家庭」（令和4年度）

図表 3-1-5-2 母子世帯の母で就業していないものの就業希望等（全国）

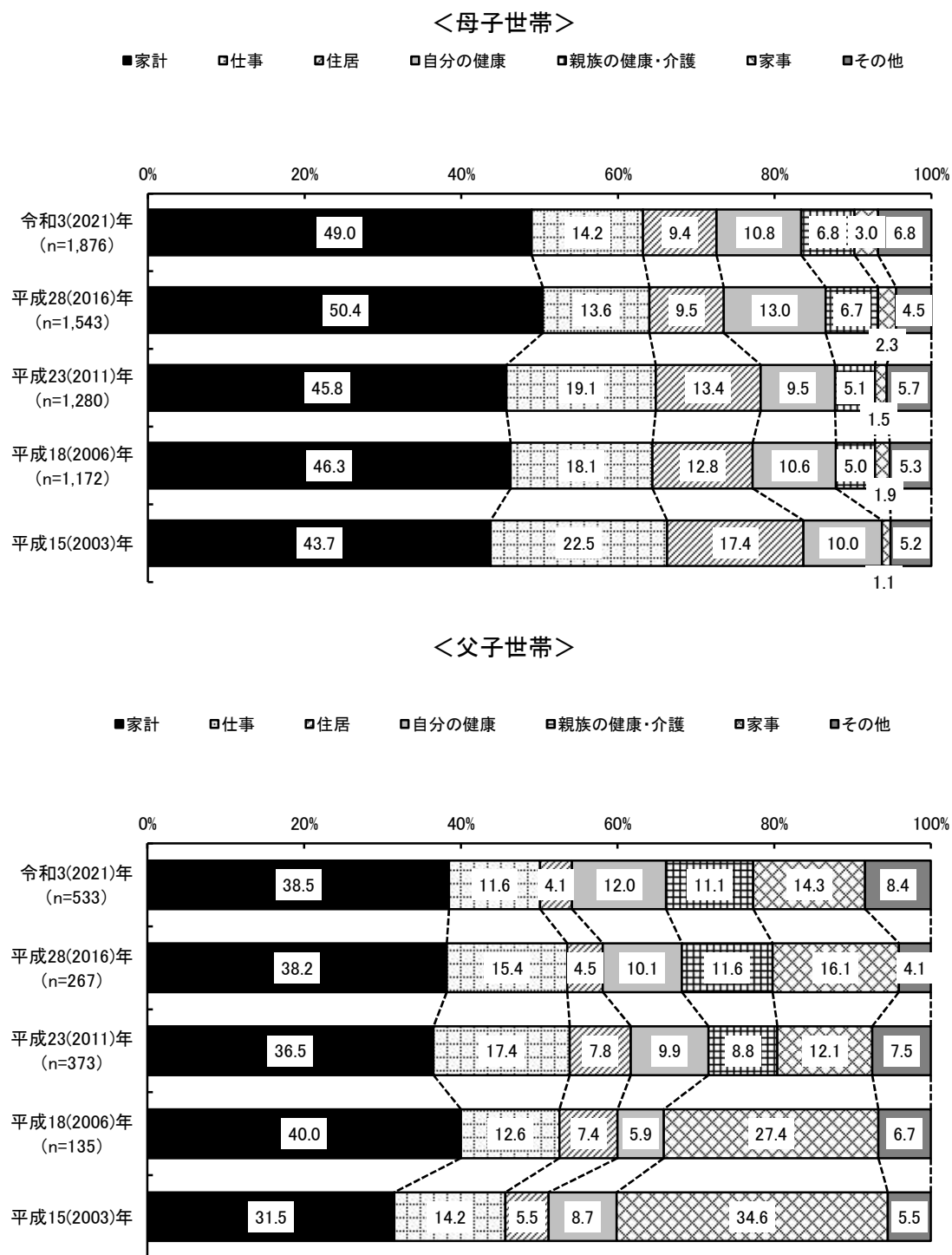


資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（令和3年度）

6. ひとり親世帯の困りごと

ひとり親世帯で困っていることは、母子世帯の場合、「家計」が49.0%、「仕事」が14.2%、「自分の健康」が10.8%となっている。父子世帯では、「家計」が38.5%、「家事」が14.3%、「自分の健康」が12.0%となっており、母子世帯との悩みの違いがみられる。

図表 3-1-6 ひとり親世帯の困りごと（全国）



資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（令和3年度）